

つて文化も若過ぎると答えました、アメリカは今までに、イギリスを始め、ドイツ、フランス、更には中国に至るまで、多くの国から文化を輸入し、模倣し、そして自分のものにして来ました。結局良いものを寄せ集めて、最良のものを作り上げるように心掛けることが大切だと思います。

【問】 遠藤尚義君

日本の教育は、下の者を引きあげ、全体のレベルを高める方針でやっておりますが、アメリカでは所謂天才教育をやっていますか。

【答】 セルコウ女史

素晴らしい質問です。一番嫌なのは天才教育です、アメリカでも下の者を引きあげる様にしてあります。子供の才能は夫々異なりますから能力に応じた教育が必要です。フランス、ソビエト等は天才教育をやっている様です。アメリカでは18才まで義務教育ですが、才能に応じて大学に進学出来るように、沢山の奨学金があります。天才教育で心配されることは、もし下の層にいれば見つけ出すことはむづかしいからです。アメリカが天才教育をやっていたとしたら、リンカーンの如き偉人は出なかつたでしょう。

ロータリー用語とその解説 (その2)

フォーラム

討論会のことである。クラブ・フォーラム、インターンティー・フォーラム(数クラブが集まる)、インターンティー・ゼネラルフォーラム(フォーラム・リーダーが司会する)等がある。

チャーター

加盟認証状

バナー

クラブを表わした旗

◆出席報告

会員数 30名 出席 25名 他クラブ出席 4名 合計 29名 (出席率96.7%)

次回例会日 8月19日



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

このマークを真に光らせよう



神山春景

深瀬会員画

通算第9号
1964-8-12
函館北ロータリークラブ

第9回例会

例会場 明治生命館
例会日 毎週水曜日
12:30~13:30

- ◆齊 唱 《奉仕の理想》
- ◆司 会 新 会長
- ◆ピ ジ タ ー 浜下改三君 野口幸治君 小寺重一君 菅原紀美男君 猪原彰君
末松和彦君 長谷川権九郎君 萩野佐太郎君 氏家義也君 村上正夫君
(以上函館R.C.)
富田恭君 菅泉君 外崎泰吾君 坂野鉄男君 高野武久君 戸田国雄君
大賀親乙君 瀬下雅也君 小林一郎君 表弘市君 山本他喜男君
(以上函館東R.C.)

◆会長挨拶

- ① 7月15日の例会に招待した米国のテレルカウンティ号のアレン艦長、ステイヴリー副長から8月3日付で重いお礼状が会長あてにまいりました。
- ② 8月11日午後6時から9時まで第1回クラブアツセンブリーを《館》で開きましたが16名が出席されました。岩見沢市の地区研究会に出席された水上、杉本、山内、遠藤の4氏より、クラブの手落でクリップシートを配布しなかつたにも拘らず、フレツシュな頭で、午前の講演会、午後のデスカッションの模様を見識高い意見を加えられた立派な内容の報告を受けました。またこのあと各委員会の経過報告と今後の抱負と方針に

について飯田、深瀬、遠藤の三氏から述べていただきました。社会奉仕委員長は欠席でしたが飯田氏と同様に卓話で話を承っております。ついで大田会計幹事の報告がありました。財政上容易ならざるものがありますので、一日も早く認証を受けて新会員を迎え適正な規模の下で適正な運営ができるように持つて行きたいと思っております。船矢幹事の報告で第一回のクラブアツゼンブリーを終りました。最後にチャーターナイトの相談をしましたがほぼ結論を得ましたのであとでお知らせします。

◆深瀬国際奉仕委員長挨拶

8月11日は独乙領事ルドウイツヒ・ハーバー氏の遭難90年目の命日にあたりますので函館公園の遭難記念碑前で心のこもった追悼式が挙行されました。会員の皆さんから厚意あるご寄附をいただいたことを感謝します。同氏がもし病死したならば斯様な友情のこもった追悼記念式はなかつたであろう。追悼式のあと座談会が開かれたがその時の話では同氏の死体を検屍したのは私の祖父だつた由、皆さんの友情に感謝し、ハーバー氏のごめい福をお祈りします。

◆幹事報告

- ①昨夜クラブアツゼンブリーが開かれましたが詳細はクラブ会報で報告されます。
- ②チャーターナイトは10月12日を目標にして準備をすすめておりますが会員の協力をいただかなければなりません、あとで仕事の分担をきめますがよろしく願います。
- ③ハーバー氏遭難90周年に際し3千円を、函館市肢体不自由児父母の会に6千円を夫々寄附いたしました。

◆ニコニコ箱

- ①函館商工会議所三号議員として飯田神生氏が選任されました。ご健闘をお祈りします。
- ②野村宜市氏は業務拡張のため株式会社に組織がえされました。ご発展をお祈りします。

◆卓話について

新会長

本日の卓話は今宮、門田の両氏を予定しておりました。ロータリーのしきたりという、卓話はインシエーションスピーチであります。入会劈頭の演説、職域の奥儀を伝授する大切なものであります。今日は時間がないので門田氏のお話は次回にして、今宮氏のお話を聞くことにいたします。

◆スピーチ

セメントの話

今宮信雄君

1. わが国のセメントの現況と将来

A. わが国セメント生産高の推移を大雑把に見ると ①第二次大戦前の最高は昭和14年で620万t/年 ②終戦当時はご多分にもれず激減して、19年が118万t、20年が93万tと目もあてられぬ惨状であつた。③その後、わが国産業の再建、国土開発や朝鮮動乱ブームを

反映して、昭和28年は874万t、29年には1,064万tと遂に1千万tの大台にのしあがつて来た。この際には、セメント工場設備の復旧、新增設、あるいは新会社の設立が旺盛な需要量に応ずる役割を果たして来た。④最近5ヶ年間の実績を見るとS34年1,724万t、35年2,254万t、36年2,468万t、37年2,879万t、38年2,995万t。また年間の成長率を見ると、各年の前年比はS35年130%、36年109%、37年116%、38年104%。以上は何れも暦年の統計である。⑤なおS39会計年は3,400万tの見通しであり、S45年には略5,000万tまで増加するものと想定されている。

B. 世界におけるわが国セメント工業の地位はどうか①1,962年(S37年)の統計によると年産高では1位はソ連で5,730万t、2位は100万t差でアメリカがつづき5,630万t、3位はぐつとひらくが日本で2,879万t、4位はほんの紙一重の差で西ドイツが2,861万t、以下5位イタリーの2,000万t、6位フランスの1,682万t、7位イギリスの1,425万t……とつづいている。たゞし中共は不明、戦前のわが国の水準は6位ないし7位であつた。②いづれにしても数年前に比べて1,2位と3,4位が逆転していることが注目される。

アメリカは5,000万t台になつてから、ジグザグのカーブを描いて、やゝ頭打ちの感がある。一方ソ連はまだ不足のようで、最近到着の外国雑誌の報ずるところでは1,963年(昨年)は6,000万t生産を達成し、これは世界第1位である。また本年1,964年は700万t、明1,965年は8,000万t生産が期待されるかと豪語している。

C. 人口1人当り年間生産高はどうか、1人1年当りのkg数をのべると、ベルギー、西ドイツ、カナダ、アメリカなど一流国は350~450kg、これに対し、わが国は300kg近くである。先程のべたようにS45年に5,000万t程度になることが想定されているので、その頃には、人口1人当り年間生産高は一流国の仲間入り出来る勘定になる。

D. わが国セメント会社数と工場数 S39年5月末現在で、会社数23、工場数53、セメントを焼く窯の数は193基になつている。

E. わが国最近のセメント需要部門別のあらまし①S39年度推定量を、38年度実績(一部推定)に比べると、国内計110%、官公需113%、民需107%。②国内需要では、東海道新幹線工事の終了する鉄道と、ダム工事の下火になつた電力部門の低下が予想される他は、各部門とも増加しており、特に道路、港湾など公共事業の引続く増大と、住宅建設の推進、その不燃化率の上昇などによる増加が目立つ。結局合計では10%の伸びである。

③また民間設備投資による需要も依然根強いものがあるが、全体としては、官公需の伸び(13%増)が民需(7%)を上まわり、国内需要に占める官公需の割合は昨年の56%から58%に増加し、逆に民需は44%から42%に減少することが予想される。④なお輸出は、昨年と殆んど変わりなく、200万tで、国内需要と輸出の総合計(3,410万t)の6%と予想される。

2. セメントに関する最近のトピックス

この辺で話題を変えて、セメントに関連する最近のトピックス2,3をご紹介します。

A 軽量骨材と軽量コンクリートについて。ここ数年来、わが国建築界ではプレハブ時代到来の声が強まっている。人手不足による工期の遅延、建築物の中、高層化と軽量化が、好むと好まざるにかかわらず、建築のプレハブ化に拍車をかけているわけである。その一つに軽量骨材としてのフライアッシュがあげられる。膨張粘土や夏岩製造工場よりも、フライアッシュ焼成による軽量骨材工場の方が投資が少なくてよいと云われている。その理由としては、(1)フライアッシュは副産物であり、採掘する必要がなく、(2)フライアッシュは焼成処理に十分な細かさをもっており従つて、粗砕、粉砕の要もない。(3)未燃焼のカーボン(炭素)という形で燃料がふくまれている。(4)フライアッシュの発生する火力発電所は大部分大都会に近い。とりもなおさず軽量骨材の主要マーケットに近いこと、これは最近のアメリカ技術雑誌に載っていたP. R. のうたい文句であるが、当を得たものと思う。わが国でもフライアッシュを主成分とした軽量骨材がこの秋頃市場に出まわることになつている。これは当社で研究され「ジョーライト」 という商品名で関係会社で生産販売されるが、例えばフライアッシュ75%、粘土20%、ペーライト5%を混合粉砕してペレット状とした原料を、回転窯で焼成したものである。製品は球状で比重は0.6から2.0まで色々な種類のものが得られ、それぞれの用途に向けられる。

B. 次に気泡コンクリートまたはガスコンクリートについて申上げたい。(1)外国では既に以前から開発されている。スウェーデンのイトン(イトン社)やシボレックス、ソ連のシリカリチートなど、これらはここ数年間に、わが国でも技術提携が行われ製品が市場に出はじめるか、近く出廻ろうとしている。原理的には略同じであるので、当社が技術提携しているイトンについて話を進めたい。(2)スウェーデンは気候的にも早くから気泡コンクリートが発達したところである。第2次大戦以後、新しい建材として注目を浴び、世界20ヶ国で大量生産されている。年間400万 m^3 で世界生産高の約4割に相当する。(3)イトンは生石灰(酸化カルシウム)と珪砂(シリカ)を混合、これにアルミニウム粉末や特殊化学薬品を少量加えて、水と練つて、スラリー状にしたものを反応させて、オートクレーブで蒸気養生した気泡コンクリートである。アルミと生石灰が反応して水素ガスが発生、スラリーは約2倍に膨張する。あらかじめ錆止めした鉄筋を入れた特殊の型枠に流し込む。凝結したところで特種設計の針金で定められた寸法に切断、オートクレーブ(高圧蒸気ガマ)に入れて10気圧、180°Cの高温、高圧で約18時間蒸気養生する。生石灰と珪砂が反応して珪酸石灰が合成され硬化する。これを仕上げ包装すれば出荷の運びとなる。(4)軽くて断熱性、防音性に富み強くて加工し易いのがイトンの特徴、鉄筋で補強できるので大型の成型品も出来る。ビルの間仕切り壁用、外壁用、屋根用、床用など用途は広く、セメントなど簡単に接合できる。乾燥収縮が非常に小さい。例えば1 m 当り0.1 mm 以下すなわち0.01%以下である。また木工具で簡単に加工できるので利用範囲が広い。(5)値段はコンクリートブロック並みと考えられるが、比重が0.4、0.5、0.6の各種があり

軽くて水に浮くため、建築基礎費が浮いて、柱も細くてすみ、仕上げに伴う損失もないので結局イトンは安くつくことになると思われる。今後高層建築、プレハブ建築の花形建材として脚光を浴びるものと考えている。

C. プレハブ用軽量建材としてのイトンに対し現場施工を主とした軽量建材としてはサーモコンを忘れることができない。(1)サーモコンはセメント、水に発泡作用などをもつX. Y. Zの特種薬剤三種を加えて強力に攪拌する。ゼネレーターで混合する。そして出来た品質均一なスラリー状のものを、あらかじめ作った型枠内にホースで流し込む。見る見るうちに膨張して約2.1~2.2倍となる。壁、床、屋根施工いずれもO. K. (2)サーモコンは比重が0.8前後、細かい気泡が万遍なく分布しているから水に浮かした場合は、なかなか沈まない。防水のためのサーモシールを施工すれば殆んど永久的である。(4)サーモコンは普通壁式構造(柱をたてず壁自体で強度をもたせる。)とするから、構造的に中層以下でスパンのあまり大きくない建築にむいている。したがって共同住宅、個人住宅、病院、療養所、保育園、老人ホームなど経済的な工費で居住性の高い耐火、耐震、耐久的な建物が各地に建設されている。(5)もともとサーモコンはアメリカのヒギンズ社で生産されているものであるが当社では技術提携して昭和31年々日本サーモン社を設立わが国で一手生産しているのが現状である。(6)サーモコンは鉄筋コンクリートに比べれば強度が弱いのでわが国では目下のところ三階建まで許可されている。勿論鉄筋コンクリート建物の上層に増築するような場合サーモコン建てにすることは可能で既に東京のNHK本館その他数多くの事例がある。両館地区では去る昭和36年4月でき上つた厚生年金函館老人ホーム(2階建3棟延427坪)がサーモコン施工である。また当社上磯工場社宅も逐次サーモコンの不燃建物に切り替えつゝある。(7)サーモコン建物が断熱性にすぐれていることは明らかであり、サーモコンはコルクの半分、木材の3倍の断熱効果がある。(8)またこんな話がある。4階建の鉄筋コンクリートアパート最上階は夏になると太陽の熱で暑くて寝苦しいことこの上ない…もつともこれは東京での話だからご心配なく。コンクリート建だとコンクリートそれ自身が非常に熱を通し易いから一番上の階だけは耐火ボードのようなもので天井を張っている。サーモコンのような断熱材だと天井板は要らない。

3. 終りに当つて一言

ひるがえつてセメントの使用範囲をふりかへつて見るとセメントの粉は数ミクロンから100ミクロンまでの何かの歌の文句ではないが、吹けばとぶような粉体であるけれども一旦水、砂、砂利あるいはその他混和剤や発泡剤と組み合わせることにより、大は河川を堰き止め発電、灌漑、貯水に欠くことの出来ぬダム、水路となり、あるいは交通になくはならぬ隧道、橋梁、道路となり、港になくはならぬケトン、防波堤、岸壁、燈台もまたセメントがなくしてはできない。都市の象徴としてのマンモスビル、ホテル、

産業開発の原動力となる工場の建設もセメントにまたねばならない。温泉の豪華な大浴場やプール、競技場、野球場スタンドもその例外ではない。住宅問題に大活躍をしていることは云わずもがな、一方セメント製品として数多くの花をひらいている。いわくスレート、ブロック、ヒューム管、コンクリートパイプ、ポール、パイル、人造大理石(テラゾー)、鉄道まくら木、魚礁をはじめ、大仏像、観音像となる。ホワイトセメントでできた優美な女人の塑像を見てはさすがにミロのヴィーナスもおのが眼をうたがうことであろう。身近なところではお宅の門、万年扉、玄関、たたき、浴槽、庭の池など、一寸お気付にならぬかも知れないが、屑港フラワーとしてデパート、バー、喫茶店などに見られる造花の植木鉢のなかにもセメントが秘められている。原料は石灰石と粘土など、それに石炭や重油を燃料としてつかつて生産されるセメントである以上、これら地下資源は何時かは寿命が来る。あるいは寿命を保っている間に、それまでにセメントに替ることの出来るプラスチック製品が誕生するかも知れない。しかしそれまでは私達はあくまでより良きセメントを皆様にお届けする義務があることを痛感して日夜励んでいる次第である。

◆出席報告

会員数 30名 出席 21名 他クラブ出席 3名 合計 24名 (出席率 80.0%)

7月個人別出席率

160%	北村								
140%	新								
120%	遠藤	深瀬							
100%	青柳	飯田(神)	飯田(貢)	今宮	神原	木屋	水上		
	門田	森	成沢	西村	野村	奥村	大田	酒井	杉本
	鈴木	戸栗	大和	山内					
80%	船矢	成田	齊藤	塚田					
60%	立花								
20%	横山								

次回の卓話

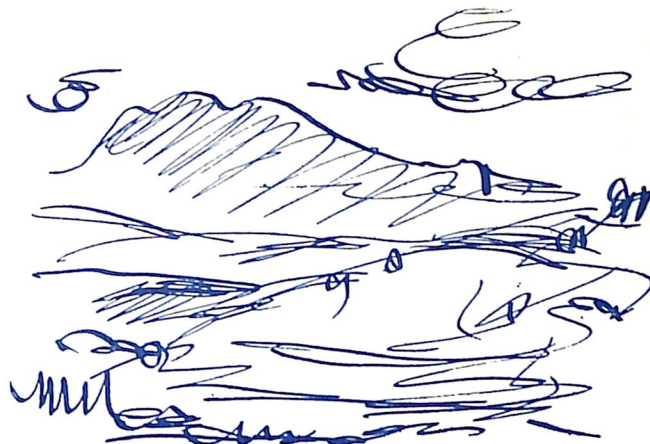
門田 豊 君

次回例会日 8月26日



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

このマークを真に光らせよう



三森山

深瀬会員画

通算 第10号

1964-8-19

函館北ロータリークラブ

第10回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

◆斉 唱 夕手に手つないで

◆司 会 新 会長

◆ビ ジ タ ー 泰良平君 他8名(函館R.C.) 太秦康光君 他10名(函館東R.C.)

◆会長挨拶 東クラブ太秦会長の御出席をいただきましたので、地区奨学金委員会に出席された模様をお話しいたします。又イニシエーション・スピーチの意味についての解説をお願いしたい。

◆太秦東クラブ会長のお話

イニシエーションの意味は新会長さんの御解説通りで「入会」でよろしい、東京などの大クラブでは入会者が多く、一々紹介出来ないでスピーチを重視します。自分の話をする事により顔を覚えて貰い、どの様な人かをわかつていただくのです。

地区奨学金制度は滝本直前ガバナー時代からの案で、洞爺の地区協議会で話が出ました。年間1人500円醸出にきました。次に地区奨学金委員会(9名)が出来、私も委員に選ばれ、岩見沢の地区研究会のあとで委員会が持たれました。更に3名の起草委員により案が出されましたが不備の点多く、帯広での年次大会で結論を出す予定です。発足は明年4月で、北クラブの皆様にはチャーターが済んだら醸金をお願いすることになります。どうぞよろしく。